

みどりをさがしにでかけよう

No.
11

2020 / 4

ちが咲き



令和元年度 自然環境調査員養成講座を開催しました

茅ヶ崎の自然環境を保全していくには、生きものの現状を把握するための継続的な調査を実施することが不可欠です。茅ヶ崎市は、この調査「自然環境評価調査」を、自然環境調査を行うことのできる知識や経験を持った市民の方々の協力のもと、実施しています。これまでの知識・経験を次世代に引き継ぎ、新たな調査員として活躍していただくため、平成30年度に引き続き調査員養成講座を開催しました。

茅ヶ崎市 都市部景観みどり課・環境部環境政策課・建設部公園緑地課
作成協力：慶應義塾大学 一ノ瀬研究会 ちが咲き Project

自然環境調査員養成講座レポート

令和元年度は「魚類、哺乳類、鳥類」の3分類群について学んでいただきました。
(植物、昆虫、両生類・は虫類については平成30年度に実施)

～昨年度のおさらい～

平成30年度は「茅ヶ崎の自然や生物調査について」の基本的な理解を深める基礎編と、「植物、昆虫、両生類・は虫類」の3分類群についての養成講座を実施しました。

両生類・は虫類の調査のポイントは

「暖かくなると動き始めるので、季節が大事」

昆虫の調査のポイントは

「種によって活動する時間が違うので、時間を合わせて」

植物の調査のポイントは

「花や実などが見つけやすいので、特徴のある時期に合わせて」

令和元年度も、各分野ごとにその分野ならではの基礎知識を習得する座学と、実際に調査体験してもらう現地講座を開催しました。

～魚類について～

ポイント解説！

「水温の高い時期に調査するとよりたくさんの種類に出会えます。」

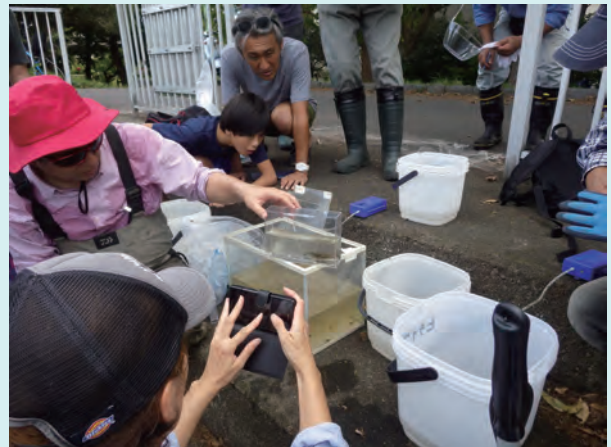
魚類のポイント！

『魚類の調査では、陸生の生物調査の採集では味わえない

面白さを体験できると思います』(講師：平岩先生より)

*参加者のアンケート回答から一部紹介

- ・調査実施者の体験を活かした話で良かった。
- ・中1の息子がまさにこのようなことを本気でやっている。親として、この興味を何かの活動や学問に活かさないものかと思って行動している。
- ・座学だけでなく、実際に採集できてよかった。夕毛網で魚を捕るのは難しい。



～哺乳類について～

哺乳類のポイント！

『タヌキ、ネズミなどの気持ちになって、
できるだけ姿を見られずに移動できる場所を探そう！』

ポイント解説！
昼間姿を見るのは難しいので、
糞やけもの道を探してみましょう。

(講師：青木先生より)

*参加者のアンケートから一部紹介

- ・いつも何気なく歩いている林の道に、これほど多くの野生動物の痕跡があるのが驚きだった。
- ・足跡の違いによる種類の見分け方、大変ためになった。
- ・日本古来の小動物が生き延びられる環境にするためには、状況を把握し、地道な調査が必要だと感じた。



～鳥類について～

鳥類のポイント！

『鳥の気持ちになると、どの場所がいいか、何をしたいかが見えてきます。』

(講師：白田先生より)

*参加者のアンケート回答から一部紹介

- ・今まで場当たりに観察していたが、きれいに整理がついた感じがする。
- ・自分だけでは鳥の名前が判断できない。慣れが必要。
- ・日頃見かける鳥も、名前がわかると楽しいものだった。今回初めて出会えた野鳥が4種いた。

ポイント解説！
どんな環境が好きかわかると
探しやすいです。



2年にわたり講座を実施した中で、多くの方から「評価調査に参加したい」との感想をいただきました。

調査へのご協力をお願いします。

茅ヶ崎市では、おおむね5年ごとに「自然環境評価調査」を実施しています(詳細な時期は未定)。

市民調査員のご協力があるからこそ、継続した評価調査が可能となります。

ぜひご参加ください！

中央公園に遊びに来ませんか？

公園の北側にある管理棟の建替え工事も終了し、より利用しやすくなった中央公園。季節の移ろいやイベントによるにぎわいなど、たくさんの「来たい！」を用意してみなさまの来園をお待ちしています。

公園中央には芝生広場や滝・ステージもあり、小さなお子様もよく散歩に来てくれます。



春にはソメイヨシノやヤマザクラの花、秋にはケヤキやイチョウが鮮やかに彩られます。園路沿いにはジンチョウゲやアジサイなど、季節を感じられる植物があります。



夏には神奈川県随一の生息数と言われるクマゼミがお出迎え。ひと夏に一万匹以上が羽化します。

池にはトンボ類やアズマヒキガエルが生息しています。

中央公園

所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎 2-3-1

面積：40000.63 平方メートル

交通：JR 茅ヶ崎駅北口 徒歩 5 分



オオシオカラトンボ